

スキークラブニュース 2014年6月号

第30回 クラブ総会開催!!

去る5月18日、第30回の総会が開催され第29期活動及び会計報告、第30期活動計画及び予算案が承認されました。その内容をお知らせします。

2014年度総会議事録

5月18日 日曜日 午後2時開催

議長：衣笠 書記：草郷

会員数：111名

出席者：30名

委任状：30名

計：60名 議長より、過半数に達したため総会の成立を宣言。

【第1号議案】 2013年度活動報告

事務局より報告：先に議案書を配布してあるので、細かな説明を省略します。各自読んで確認し特に質問・意見がなければ、承認に移ります、よろしいですか？

出席者の拍手多数で承認。

【第2号議案、】 2013年度会計報告

会計より報告：議案書に掲載した報告書の数字には間違いがないので説明に入ります。

- * 通信費・事務費がマイナスの理由は、前年度の切手代など、未処理分が残っていたため赤字になった。その分は預金の40万から補てん済み。
- * 岩鞍ツアー中止による宿泊キャンセル料の半分は自己負担とし、半分は行事補助費から補てん。ツアー中止に関して、実行委員の方々には大変なお骨折りを頂いたことを報告し、会員一同心からお礼を申し上げます。
- * 交通費のマイナスは役員会の回数が増えたため。
- * 広報費はプロバイダーの支払い分。
- * 新会員3名分と2年分まとめ払いなどにより、収入増となるが、会費未納者、退会者もあった会計報告について、質疑を問う。

出席者の拍手多数で承認。

会計監査 成田さんから、監査実施について報告。

【第3号議案】 会則改定提案

事務局より説明：昨年からの提案してきた案件で、今回は1年かけて検討した結果を審議願います。事前にお渡ししてあるのでご意見を伺いたい。

Q 〈第4条〉入退会の可否は会長が決定する。となっているが、会長の独断で良いのか？

A 第4条は役員会で検討し会長が承認すると、表記しなおします。

Q 〈第5条〉回避の納入 誤字ではないか？

A 会費の間違いです。お詫びして、訂正いたします。

Q 〈第6条〉局長とあるが、やくざのような呼び方に聞こえるから、今までどおり事務局長が良いと思う。

A 役員会の中では都合のいい呼び方ですが、耳から入る言葉としては違和感があるのではないかと。

* 議長からの提案により、挙手で採決の結果 「事務局長」が多数意見となった。

* 副会長より役職の説明があり「副会長」は、ブラインド1名・晴眼者1名の2名とする。

「監事」は役員の一員として活動し、必要な場合は招集に応じ、役員の活動行為として、会計及び業務の監査を行うことができるよう、名称を変更した。

* 誤字脱字発見。

〈第10条〉第1項 一事情が生じた場合は《役員会の承認を受けて》残任期間を - - 追加文

〈第11条〉実行委員会の委の字が抜けている。

〈第12条〉開催することができる。句読点が抜ける。

〈第13条〉 〈第16条〉と印刷ミス。

会計年度の変更は、6月総会から5月が変わった為、会計を閉めてからの期間を短くし、実質にあわせるため、5月1日を会計年度始めとした。

〈第14条〉 〈第17条〉と印刷ミス

附則 最後の行：この会則は、平成26年5月19日より改正施行する。

以上誤字脱字が数か所見つかった為、慎重に見直し、後日訂正版の発行することになった。

会則の変更に関しては初めてのことであり、役員の方々の並々ならぬ努力の元、誰もが分かりやすいものになったのではないだろうか。

会則改定に関して拍手で承認を得る。*****

【第4号議案】 2014年度活動計画

事務局長より報告： まずは活動方針案を参照して頂きたい。

以下企画担当から説明

夏期企画

8月2日(土) 会場：ライトセンター 「体力を見直そう」

講師はクラブ会員であり、金沢スポーツセンター所長の有賀さんが担当。握力、腿裏柔軟度、等を計測し、しなやかな筋肉を保つためにはどうするか。自宅でもできる内容のストレッチを紹介して頂く。動きやすい服装でご参加ください。(終了後、暑気払いの予定)

秋のイベント

10月13日(月・祝)よこはま動物園ズーラシア。楽しく長く歩いて体力作り。

家族と一緒に楽しめるイベントになっています。

新会員募集

11月8日(土) 説明会の予定。晴眼者と、ブラインド初心者募集します。

シーズンイン研修会

12月7日(日) 会場：ライトセンター ブルートゥーストランシーバーの誘導體験。安全に楽しく滑るための話し合い。(終了後、忘年会の予定)

2014年度スキーツアー

1月ツアー詳細未定

2月ツアー日程 2015年2月14～16日(土日月)ゲレンデは例年通り、岩鞍ホワイトワールド。宿は「かぶらぎ」予約済み。

クラブホームページ「声のきずな」の運営

クラブホームページのURL <http://www.kanagawa-blindski.com>

「クラブニュース」

年4回発行予定 ネット配信始まる。

体カアップ教室

毎月、第二日曜日10時～12時 ライトセンターだよりの墨字版は否掲載になったが、点字版には記載されています。ただし、昨年からの晴眼者単独では利用できず、介助としての参加になります。

その他

JRPSユースツアーへの協力、重複障害者スキーのサポート等は継続。

2014年度予算案

会計より説明： 通常の年会費の他に、30周年実行委員会活動費を新たに計上した。 向う2年間年会費と同額で2000円の協力依頼をして、別紙予算案の説明に入る。

年度活動予算案から **収入** 年会費は80人分を計上。 **支出** 通信費・事務費の繰り越し分が無くなった為、元に戻した。 行事補助費をなくした理由—これはあくまで予算であり各行事に必要な費用は各自の負担が原則。別途、不測の事態に備えて予備費として計上。 用具費は、ゼッケンや無線機など予定外の買い替えに備える。 交通費は役員会が増えた為の増額。 広報費はプロバイダー支払い分。

30周年実行委員会活動予算から 主に役員会の交通費として使用。

—予算案に対して質疑応答及び補足—

○ 30周年記念行事は ①記念ツアー ②懇親会 ③記念誌 を検討している

○ 福祉バスに関して：今までは8500円だったのが、雪道走行の時、片道15000円UP 往復30000円・交代運転手分が追加される。毎回抽選に当たっていたため、今まではこの金額でツアーが出来ていた。万が一外れた場合は、さらなる増額をご承知頂きたい。

質疑応答無し

2014年度予算案に対して、出席者の拍手で承認された。

【その他】

事務局より：新会則は一応承認されたが、訂正箇所が多数有るので十分に見直し再度印刷配布します。

2014年度ツアーの実行委員を募集する。 それに答えて、太田・射場・串田・小幡・杉・志村・矢部 の方々が名乗りを上げ、拍手で承認された。まずはこの7名で実行委員会を立ち上げ、ツアーに向けて活動して頂くことになった。

西川さんより：3月のJRPSユースツアーのご協力有難うございました。ブラインド7名 参加しました。

30周年事業について副会長から発言

このクラブが発足したのは、1985年8月18日、29年目に入りました。今年は準備期間の年。来年はイベント実行の年。昨年より具体的に何をやるか議論してきた。今までの30年を振り返り、これからは前に向かって進むエポック(新しい時代)としてとらえ、未来に向けた30年としての明確なメッセージを送り出さなければならない。

30周年記念活動スローガン

「この仲間だから・・・」をコンセプトとしてイメージを膨らませていきたい。

今回ツアー中止に関して行動できたのは、この仲間だからできたことであり、これを繋げたい 例えば*この仲間だからツアーを楽しもう。*この仲間だからサロンで語り合おう。*この仲間

だから記念誌を広げよう。等、この様にベクトル(エネルギーの方向)を一方向に向けることが大切になる。

30周年記念行事の役員について

ツアー担当： 串田・高野・渋谷・町田・ツアー実行委員も参加

サロン担当： 串田・岡・川添・小須田・矢部・志村・八重樫

記念誌担当： 白崎・高野・小林・藤田(功)

各担当の責任者はブラインドとする。できれば、各実行委員長は役員以外のブラインドから選出したい。各企画への参加は随時受付中。

会計：福田

6月21日 役員会の立ち上げ予定。 キックオフ！！

初代会長：藤田さんからお話を頂く。

失明してから14年間スキーのできない時期があった。そんな時、「県視援奉」(神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団)レクリエーション部会の「雪と戯れ雪に遊んでもらう会」に参加して、越後湯沢(湯沢新日本スキー場)のグレンデに立った時の感動と喜びが、もっと滑りたいという思いを突き動かし、自分たちで会を作ってグレンデに行こう！ と、「神奈川県視覚障害者スキー協会」(現かながわブラインドスキークラブ)を立ち上げた。1985年夏、障害者4人で発足する。手伝いを白崎さんに頼み、一緒に滑る人を集める。横浜の広報に乗せて頂き、林あきさん、小林さん、成田さんなどが参加。その後、朝日新聞に載ったことで、1993年から一気に晴眼者が増える。それならばと、年2回のツアーが実現。丸沼、エコーバレー、ブランシュ高山、宝台樹などのグレンデを体験し、今は尾瀬岩鞍が常宿になっている。その後も朝日新聞に記事を書いていただいたことで、晴眼者が増員した。その為、いつの間にか障害者が遠慮がちになり、それが今でも続いている。ブラインドのためのスキークラブである以上、ブラインドが先頭に立って会を運営して欲しい。今、コースの若い人たちの行動力を感じて、スキーを始めたころのやりたい感がひしひしと伝わってくる。もっと障害者が中心となって、この会を盛り上げて欲しいと思います。

〔その他の質疑応答〕

Q 30周年事業は去年決まっていたのではないかと

A 去年から継続して議論した結果の内容である。

Q 賛助会員の団体とはどこの企業か？

A 今のところはない。皆さんからの情報をお待ちしています。

Q 去年は行事補助費が10万有り、今年は予算無しで、必要な時、どうなるのか？

A 不測の事態に備えて、活動予備費として計上している。税金も上がり、今まで以上に苦しい財政が予測される。今後も賛助会員を募り、スポンサーを探します。

○ 1月のツアーは24日あたりを予定しています。どこかいいグレンデがあったら教えてほしい。

○ 2月の岩鞍以外、良いところがあれば紹介してほしい。2016年からのツアーになるが。

議長：他に意見が無ければ総会はこれで終了いたします。

4時45分終了

なお、総会資料中、会計報告及び予算案が点字に翻訳されないトラブルが発生しました。お詫びすると共に次ページに改めて掲載させていただきます。

2013年度会計報告

	費目	予算	実績	差異	備考
収入	繰越金	¥87,924	¥87,924	¥0	
	会費	¥170,000	¥176,000	¥6,000	¥2,000 x 73名 = ¥146,000- ¥4,000 x 5名 = ¥20,000- ¥10,000 x 1名 = ¥10,000-
	雑収入	¥5,000	¥12,347	¥7,347	岩原ツアー-余剰金 ¥10,295- 無線機売却 ¥2,000- 預金利息 ¥52-
	小計	¥262,924	¥276,271	¥13,347	
支出	通信費	¥30,000	¥53,017	¥-23,017	2012年度未処理分
	事務費	¥27,924	¥39,260	¥-11,336	2012年度未処理分
	用具費	¥40,000	¥0	¥40,000	
	行事補助費	¥100,000	¥85,177	¥14,823	岩鞍ツアー-宿泊キャンセル料 ¥69,000- 同振込手数料 ¥420- ツアー-返金振込手数料 ¥5,242- 岩鞍ツアー-清算不足金 ¥10,515-
	交通費	¥25,000	¥86,360	¥-61,360	役員交代・増員
	広報費	¥40,000	¥39,060	¥940	HP管理費用
	その他	¥0	¥6,590	¥-6,590	県民センター会議室レンタル料 ¥2,600- 総会飲料代 ¥3,990-
	小計	¥262,924	¥309,464	¥-46,540	
総合計				¥-33,193	

収入	¥276,271
支出	¥309,464
収支	¥-33,193
預金	¥400,000
合計	¥366,807

預金	¥338,632
現金	¥28,175
合計	¥366,807

2014年度活動予算案

	費目	予算	前期実績	差異
収入	繰入金-①	¥66,807	¥0	¥66,807
	年会費	¥160,000	¥176,000	¥-16,000
	雑収入	¥0	¥7,347	¥-7,347
	小計	¥226,807	¥183,347	¥43,460
支出	通信費	¥20,000	¥53,017	¥-33,017
	事務費	¥15,000	¥39,260	¥-24,260
	用具費	¥40,000	¥0	¥40,000
	行事補助費	¥0	¥85,177	¥-85,177
	交通費	¥100,000	¥86,360	¥13,640
	広報費	¥41,000	¥39,060	¥1,940
	その他	¥10,807	¥6,590	¥4,217
	小計	¥226,807	¥309,464	¥-82,657
総合計				¥-39,197

30周年実行委員会活動予算案

	費目	予算
収入	活動補助費-②	¥100,000
	年会費	¥160,000
	雑収入	¥0
小計		¥260,000
支出	交通費	¥160,000
	その他	¥100,000
	小計	¥260,000

2014年度活動予備費

預金・現金総額	¥366,807
14年度繰入金 (①+②)	¥166,807
合計	¥200,000

クラブ創設30周年を迎えるにあたって

『この仲間だから . . . 』

かながわブラインドスキークラブ 会員のみなさま

第30期クラブ役員会

会長・30周年記念事業統括 渋谷 清二

副会長・30周年記念事業担当 串田 直樹

去る5月18日、第30回総会において2014年度の活動計画ならびに予算が承認されました。当クラブは8月18日に30歳の誕生日を迎えますが、今年度はクラブ創設30周年を祝う事業(三つの記念イベント：ツアー・サロン・記念誌)の準備の年、来年度は実施の年と位置付けました。

振りかえってみると、当クラブ30年の歴史は、クラブ創設時の崇高な理念とその理念に賛同する多くの仲間の努力と協力の歴史だったと思います。今後、更に一年一年と歴史を刻んでいくためには、過去を振り返るだけではなく、将来に向けた展望も築いていかなければならないと考えます

そこで、記念事業のコンセプトに『この仲間だから . . . 』を掲げ、三つのイベントに取り組んでいくこととしました。三つのイベントをとおして、『この仲間だから〇〇〇だったよね!』とこれまでの歴史を振り返り、『この仲間だから△△△ができるじゃないか?!』と夢実現の第一歩が踏み出せばいいと思っています。将来、30周年事業が話題にのぼることがあるでしょう。そのときに「あの30周年の頃からクラブは変わったよね!」と語られるような記念事業を企画したいと考えております。一緒に各企画を盛り上げてくださる仲間を募集しています。我と思わん方はぜひ事務局へご連絡ください。

夏期研修会・懇親会のお知らせ

日 時：平成26年8月2日(土) 13:30~16:30

場 所：ライトセンター 2階 第1講習室

懇親会：よこはまそごう 屋上ビアガーデン(予定)

開始時間：17:30分前後から

会費：4000円

安全で楽しいスキーをするために夏期研修会は『夏から始めよう スキーの体力づくり』を目指し、スキーツアーの半年前から各自が、スキーの体力づくりを意識して取り組めるトレーニング方法や、無理をしない体力づくりなどの講座を計画しました。

講師は、ツアーではいつも元気で厳しい誘導をしてきたクラブ会員で、公益法人 横浜体育協会 金沢スポーツセンター所長の有賀美由紀さんをお願いしました。

テーマは『スキーシーズンに向けてしなやかな体を目指そう。簡単ストレッチ』。

前半では体力測定を行い、実施方法の説明、握力、長座体前屈等の測定した結果を解説します。

簡単ストレッチ体操は、椅子に座った状態で出来るストレッチの紹介など、休憩を入れての講習になります。家の中でもできる体力づくりですから、家族や友人で興味のある方にも声をかけて参加して下さい。また参加される方は動きやすい服装でお願いします。

当日の連絡：企画係 小林

【研修会・懇親会 出欠はがきについて】

☆ブラインドの方は、出欠回答ハガキの切れ目の入った角を左下にして、

- ① 右上の対角線上の角が研修会と懇親会の両方に参加する方。
 - ② 左上が研修会だけに出席する方。右下が懇親会だけに参加する方。
- として1センチ程度斜めに切り取ってください。

☆メール版受信の方は

- ①研修会、懇親会両方出席
- ②研修会のみ参加
- ③懇親会のみ参加
- ④全て不参加

いずれかを選び返信してください。

申し込み締め切りは7月20日です。

次回予告：秋のイベントは10月13日(月・体育の日)よこはま動物園ズーラシアです。

事務局からのお知らせ

クラブニュースは現在、次の4種類メディアで、お送りしています。

- ①点字版：20から30ページ程度の点字と同文の墨字で、募集がある場合は返信ハガキ同封
- ②墨字版：A4サイズの4から8ページ両面印刷で、募集がある場合は返信ハガキ同封
- ③PCメール版：メール送付の案内とメールの文章に差し込んだ本文とワードで作成した添付ファイルで、返信ハガキは送ることが出来ませんから、募集に対する返事は参加・不参加の返信メールで
- ④携帯メール版：メール送付の案内とメールの文章に差し込んだ本文を送り、返信ハガキは送ることが出来ませんから、募集に対する返事は参加・不参加の返信メールで

※メール版は他の送信者にアドレスが表示されない「BCC」を使って送っています。

そこでこのニュースが確実に皆さんの手元に届くように希望者には当面複数のメディアを希望される方には要望に応じていますので必要な方は今回の返信ハガキかメールでご連絡ください

※今年度の総会時に委任状が集まらず、危うく不成立となるどころでした。ご協力お願いします。

なお、改定された会則は9月号でご案内します。

会計からのお知らせ

総会でもお知らせをしましたが、今年度は従来の年会費¥2,000/人に加え30周年記念行事実行委員会活動費(主に交通費)として更に¥2,000/人の徴収を提案し、承認されました。よって、総会を欠席された会員の方は¥4,000/人の振込をお願い致します。また、これは総会でお話しし忘れたのですが、従来は前年度会費が未納の方に2年分の会費納入をお願いしておりましたが、管理の都合上、今年度は過去の未納分を帳消しとします。会費の納入は**7月31日まで**にお願い致します。振込先は下記の通りです。皆さんの会費によって当クラブは運営されています。どうか期日までに納入をお

願います。

以前の郵便口座には振込まないようにご注意ください！！

【編集後記】

いよいよ30周年が目前に迫ってきました。今年度はその準備で忙しくなりそうです。各企画共実行委員は決まりましたが、なるべく大勢の力で作り上げていきたいと思っています。「できるときにできることを」の精神で構いませんので、ご興味のある方は事務局までご連絡をお願いします。また、賛助会員を募集しています。当クラブの趣旨に賛同し、援助して下さる団体をご存知の方がいらっしゃいましたら、これも事務局までご連絡をお願いします。

『クラブニュース編集・発行』

発行責任者 : 渋谷清二

広報Team : 福田 川添 高野 プラス白崎

<http://www.kanagawa-blindski.com/>

事務局 白崎